



令和3年度 宿利原小学校だより

宿っ子

12月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



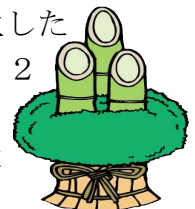
「行く年，来る年」

校長 有留 盛昭

師走恒例の「今年の漢字」が先日発表されました。2021年は、「金」だそうです。これは、はがきやウェブサイトで公募し、一番多いもの選ばれているそうです。歴代の「今年の漢字」を見てみると、その年の大きな事件や災害等から連想される負のイメージをもつ漢字が選ばれることが多いです。それに対して、今年の「金」は、多くの明るい出来事が連想されます。例えば、オリンピックやパラリンピックでたくさんの選手が活躍したり、その他の各種スポーツや将棋で日本人が歴史に残る記録を残したりしたことが反映されているようです。「金」という漢字は、これまでもオリンピックと関連して4回選ばれているということです。オリンピックやパラリンピックについては、コロナ禍の中で様々な意見も飛び交っていましたが、観戦、応援する多くの人々にとって、良いイメージが大きく残った出来事だったと評価できるのではないのでしょうか。

さて、宿利原小学校の2021年は、コロナ禍での微妙なバランスをとりながらも、昨年以上にたくさんの方々と交流を進められた一年でした。子供たちの活動では、県内の新規感染者数がピークになった8月の鹿児島大学見学や合同奉仕作業を中止に、9月の運動会を昨年以上に縮小することになりましたが、それ以外は通常に近い状態で実施することができました。特に、宿利原寺子屋塾における大学生との交流活動は、子供たちの安全確保や楽しい思い出作りに繋がったと思います。また、創立130周年記念となる音楽フェスティバルは、錦江町文化センターという大きな舞台、たくさんの観客の前で発表する素晴らしい機会となりました。子供たちは、これまでに経験したことのない程の緊張感の中で堂々と発表することができました。たくさんの方々に支えられ、見守られて、様々な活動をする度に、子供たちは大きく成長してきました。そんな一年でした。

12月に入ってから、私たちの想像を遥かに超えた自然災害が海外で発生したり、国内でも痛ましい事件や事故が多発しています。もうすぐ迎える2022年（令和4年）が少しでも明るい年になりますように、そして子供たちの明るい未来に繋がりますように、学校・地域・家庭で力を合わせて、教育を進めてまいりたいと思います。



今年1年間、保護者の方々や地域の皆様方には、本校教育活動に対しまして大きな御理解と御支援をいただきましたことに対しまして篤く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。それでは、皆様どうぞよい年をお迎えください。



~~~~~  
裏面にもありますが、ダイコンを収穫しました。フェイスブックに写真や動画をアップしています。左のQRコードからご覧いただけます。

